



毎月10日は
都構想の日

マンガで解説!

ハチチー・モトールと 大阪880万の挑戦

Vol.3
大阪市・
広域戦略 編

*1 何で同じようなモノ2つもいるねん?

大阪府と大阪市とは、目的が重複する施設が競うように建てられ、莫大な税金が投入されてきた。これは、府市の二重行政を表す代表的な例である。例えば、大規模コンベンション施設である、グランキューブ大阪(大阪府)は570億円、インテックス大阪(大阪市)は511億円。産業振興を目的としたマイドーム大阪(大阪府)は90億円、産業創造館(大阪市)は170億円。男女共同参画を目的としたドーンセンター(大阪府)は90億円、クレオ大阪(大阪市)は126億円。超高層商業ビルである、りんくうタウンゲートタワービル(大阪府)は659億円、テクノポート大阪WTC(大阪市)は1193億円。枚挙に暇がない。

*2 しかもその施設はミツバチ以外も使うやうに…

大阪市内の広域施設には大阪市民の税金が投入されているが、市域外の利用者の割合が高い事業が多く存在する。負担は大阪市民が負い、便益は大阪市民以外が享受する。例えば、地下鉄乗車人員は66.4%、大阪市立美術館は70.7%、大阪歴史博物館は70.4%、市立大学入学者は83.3%、大阪市立大学付属病院患者は43.5%、大阪市立病院患者は28.1%、大阪市立高校は36.9%がそれぞれ市外居住者の利用となっている。広域については、大阪都に一本化すべきである。

*3 建物にかかるのは建設費だけではない。その後の維持管理費や補修費もかかる。それでうまくいっているのならいいけど、現実には… 大阪府と大阪市の不毛な二重行政から生まれた見通しが甘かった事業は、当然ながら費用を貯うだけの収益が生まれない。実際に、「ATC」は3,065億円、「MDC」は1,059億円の総事業費をそれぞれかけたが、共に平成16年に特定調停(いわゆる破たん)に至っている。最近の事例では総事業費254億円をかけた「なにわの海の時空館」が平成25年3月に閉館。その他、オーク、オスカー、枚挙に暇がない。

*4 そんな二重行政のせいもあって大阪市民の一人当たりの借金は日本一、東京の3.5倍!

大阪市民1人当たりの借金は約162.8万円、東京都民の1人当たりの借金は約46.4万円。何と、大阪市民は東京都民の3.5倍もの借金を抱えている。ちなみに、同じく令政市である横浜市民1人当たりの借金は約99.7万円で、それと比較しても大阪市民は1.6倍もの借金を抱えている。

*5 ソウル、香港、上海、NYなど“一千万都市”に勝つには、広域のことは880万人全体で計画・推進すべきなんや!

ソウルの人口は1,004万人、GRP*は約80兆。上海の人口は1,435万人、GRPは約53兆円。香港の人口は716万人、GRPは約36兆円。NYの人口は818万人、GRPは約123兆円。世界には1千万規模の都市が存在し、巨大なGRPを生み出している。

巨大な人口と巨大な経済圏を競争力の源泉とし、グローバル社会の中で都市間競争で成果をあげている。大阪府と大阪市が不毛な争いをしていては、都市間競争に打ち勝てない。※GRP(Gross Regional Product)…域内総生産

*6 そんな取り組みが僕らの街でも実際に始まっているんだね!

橋下市長と松井知事が強力なリーダーシップで府市の連携を進め、これまでの体制では実現できなかったような取り組みを行ってきた。大阪城の活用では、モトクロスの世界大会の開催、3Dマッピングなど大阪の新しい賑わいを生む事となった。府市が連携して立ち上げた大阪観光局の活躍も目覚ましく、2013年実績は、2011年と比較して、100万人増の年間262万人の外国人観光客の受入れを達成した。非効率に経営されてきた関空・伊丹空港の経営の統合も実現し、LCCの導入等成果をあげている。また、規制緩和の取り組みも進み、御堂筋の建築物の高さ規制を緩和し、これまでの60mという規制から100mを超えるビルでも建築が可能になり、大阪の経済起爆剤の一歩となる。

維新プレス Vol.6

毎月10日は都構想の日。今後も大阪都構想に関する情報を提供してまいります。

発行日/平成26年7月10日

発行元/大阪維新の会

〒542-0082 大阪市中央区島之内1丁目17-16

三栄長堀ビル

Tel.06-6120-5581 Fax.06-4963-8801

<http://oneosaka.jp>

府市再編で
二重行政のムダをなくす。

大阪都構想

<http://oneosaka.jp/tokoso/>

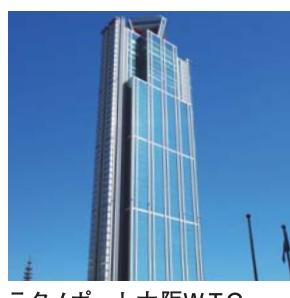
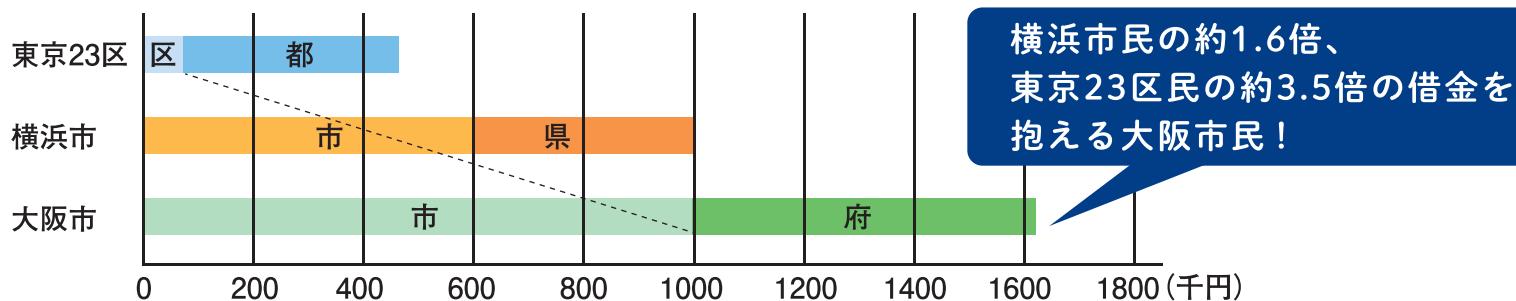
維新の実績 広域戦略編

二重行政が招いた、大阪市の厳しい現状を見つめ直しながら
大阪市を活性化していく新たな活動と、その成果を紹介します。

負の遺産

大阪市民は、日本一の借金を抱えている！

一人当たり約162.8万円の借金を抱えている大阪市民。
大阪府と大阪市の二重行政による、非効率な行政運営がもたらした結果です。



大阪市が巨大すぎるゆえに、莫大な税金の無駄遣いがなされてきた！

事業名	総事業費等	現状(損失額・破たん処理等)
阿倍野再開発事業	4,800億円	大阪市財政悪化の最大の要因
ワールドトレードセンター(WTC)	1,193億円	大阪府に86億円で譲渡
アジア太平洋トレードセンター(ATC)	3,065億円	平成16年に特定調停(いわゆる破たん)
港町開発センター(MDC)	1,059億円	平成16年に特定調停(いわゆる破たん)
クリスタ長堀	907億円	平成17年に特定調停(いわゆる破たん)

この他にも、オーパーク、オスカーレをはじめ、たくさんの事業が破たん！

無駄な事業費の総額は**1兆6,000億**円にものぼる！

広域戦略の実績例

1 大阪城でモトクロスの世界大会や3Dマッピング！

11,000人の観客(2013年)を動員し、
アジア初のモトクロスの世界大会を開催！
27カ国196番組で放映されました。3Dマッピングは、期間
入場者数59万人に。大阪の新しい賑わいが生まれています。



2 大阪観光局設置で海外からの来阪観光客100万人増！



大阪観光局を設置し、民間のノウハウを活かした
大阪の観光づくりに着手。2011年から100万人増、
2013年には年間262万人の観光客の受入れを
達成しています。

3 関空・伊丹、空港経営統合で戦略的経営・LCCの成功！

非効率に経営されてきた2つの空港経営を一元化。
戦略的経営でいち早くLCCを導入し、日本における
LCCプレゼンスを確立。今後さらなる経営の効率化で、
アジアのハブ空港を目指します。

4 御堂筋の建築物高さ規制緩和による経済活性化！

大阪経済地盤沈下の原因の一つ、御堂筋の建物高さを
規制緩和。60メートル規制を、100メートルを超える
ビルでも建築可能に。オフィスビルなどが建て替えを
始めており、大阪経済起爆剤の一歩となりつつあります。

7月13日(日)12時30分～地下鉄鶴見緑地駅西側ロータリー、15時～長居公園南西角、17時～地下鉄コスモスクエア駅前にて、橋下代表、松井幹事長の街頭タウンミーティングを行います。是非、お立ち寄りください。
※急きょ予定が変更となる場合がありますのでご了承ください。

二重行政のムダをなくし、豊かな大阪をつくる。

大阪維新の会は、府市再編であらゆるムダをなくします。
そして大阪の持続的な成長に向けた、未来を見据えた施策を実現していきます。

